

東北大学のスタートアップ創出支援について

2025年11月

東北大学スタートアップ事業化センター





東北帝国大学の創立 三番目の帝国大学, 1907



「仙台は学術研究に最適な都市」
アインシュタイン, 1922

研究と教育は車の両輪

研究第一

教育

研究

建学の
理念

社会価値を創造

実学尊重

社会との
連携

門戸開放

多様性を力に



日本初の女子大学生の誕生
「女子の帝大入学は重大事件」文部省, 1913(111年前)



専門学校・師範学校・留学生へ開放



「産業は学問の道場なり」 第6代総長 本多光太郎

民間および自治体等からの
寄附を受けて創設・発展

東日本大震災からの復興へ貢献
大学の社会的使命を構成員が強く自覚, 2011～

東北大学の歴史と理念



学生総数

17,816名

留学生数(通年)

2,147名

2024年5月1日現在

学部

10

大学院

15

専門職大学院

3

附置研究所

6

国宝

2

登録有形文化財

13

附属図書館

20

博物館・展示室

7

東北大学

平和で公正な人類社会の実現に貢献
建学の理念を礎として知・人材・社会価値を創出

I . Commitment for Impact

未来を変革する社会価値の創造

- A) 国際的に卓越した研究エコシステム
(学術的インパクト)
Research Excellence
- B) 世界に変化をもたらす研究展開
(社会的インパクト)
Impactful Research and Innovation

研究第一

卓越性の追求

II . Commitment for Talent

多彩な才能を開花させ未来を拓く

- A) 世界の研究者を惹きつける研究環境
Campus for Aspiring Minds
- B) 世界に挑戦する学びの創造
Gateway to New Venture

3つのコミットメント
に基づく
システム変革

産学共創・
スタートア
ップ創出

実学尊重

社会価値の創造

先入観にとらわれない大胆な変革

III . Commitment for Change

変革と挑戦を加速するガバナンス

- A) 全方位の国際化
Full-Scale Global Readiness
- B) 機動的で責任ある経営とガバナンス
Responsive and Responsible Governance

門戸開放

多様性と開放性

規制緩和等と連動したシステム改革

新たな知識経営体として機能拡張し、社会・世界への波及を拡大

研究第一 → 実学尊重 → 社会価値創造

研究が駆動する戦略的プロジェクト

材料科学



ものづくり・環境・エネルギー・食品・農業・医療等への横断的波及

スピントロニクス



半導体産業競争力の強化
グリーンな未来への貢献

災害科学



グローバルアジェンダへ

総合知に基づく地球規模課題の解決
レジリエントな社会の創造

ライフサイエンス



データ駆動による
未来型医療・ヘルスケアの開拓

人文社会科学



統合日本学



新しい日本学研究の展開
国際価値共創

科学技術イノベーション

持続可能社会

人類のウェルビーイング

世界に開かれた社会価値創造プラットフォームとしての大学へ

都市部の全キャンパスをイノベーションの場として創造

- ・ 東北大学キャンパス:市街中心部330万㎡の共創空間
- ・ 土地売却収入を含む自己財源(約260億円)により、新キャンパス整備にかかる全ての費用を拠出
- ・ 仙台市と連携し、2015年に地下鉄東西線が開業



半導体テクノロジー共創体
国内最大の半導体R&Dプラットフォーム



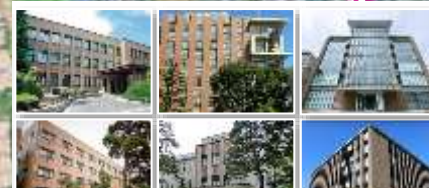
東北メディカルメガバンク機構
日本最大の一般住民バイオバンク(15万人)



東北大学病院
80万人の臨床データ

サイエンスパーク
4万㎡

3GeV高輝度放射光施設 ナノテラス
世界でも類のないコアリション型整備方式



研究所機構
共創拠点の機能統合による国際研究プラットフォーム

2015年開業
仙台市と連携

地下鉄

東京から90分

仙台駅

500m

本学独自のサイエンスパーク事業を展開

- 多彩なアクターが参画し、社会価値を生み出すイノベーションエコシステムを創造
- 国家的に重要な戦略技術領域の研究ハブを形成(半導体、AI、バイオ、量子、マテリアル等)

世界最先端フラグシップファシリティを戦略的に整備

- DX連携を通して比類ないスーパーファシリティネットワークを構築(民間投資も活用)

企業のR&D拠点をキャンパスに設置

- 共創研究所およびその発展型により、企業との大型産学連携を一気に拡大



スパコン「AOBA-1.5」
ベクトル型としては世界一の性能

ペタバイト級
ストレージ

3GeV高輝度放射光施設 ナノテラス

- ナノスケール現象を可視化する巨大な顕微鏡
- 建設段階から民間投資を呼び込む世界でも類のない整備方式
- 出資意向は企業・大学・研究機関等約150件

国際放射光イノベーション・スマート研究棟

青葉山ユニバース

2027年竣工

サイエンスパーク4万m²

新たな整備手法・運営手法に挑戦

- 大学債等によるサイエンスパーク整備
- 国立大学初の民間金融機関との共同出資会社による事業展開 ※ 東北大学共創イニシアティブ(株)

サイエンスパークの新営2棟: 青葉山ユニバース／国際放射光イノベーション・スマート研究棟

8



躍進するライフサイエンスキャンパス(星陵キャンパス)

9



生命科学研究科

医工学研究科

薬学研究科

スマートエイジング
学際重点研究センター

加齢医学研究所

歯学研究科

東北大学病院

- 1160床を有する臨床研究中核病院
- 企業受け入れのためのデザインチーム/
Academic Science Unit/ Open Bed
Lab.
- 日本最大規模の地域医療ネットワーク運用
- 臨床データ産業利用推進



オープンイノベーション
事業戦略機構

- 文部科学省整備事業終了評価に
おいて、期待以上の成果として
「S評価」獲得
メディシナルハブ



東北メディカル・メガバンク
機構(ToMMo)

- 世界初の7万人規模の三世代コホート調査
- 日本最大の15万人規模の住民コホート調査
- 世界でも有数の複合バイオバンクを構築
- 未来型医療の最先端研究の推進へ

基礎研究

事業化

疾患・病態

バイオバンク

臨床研究

医学系研究科

未来型医療創成センター
(INGEM)

- 個別化医療・個別化予防
- 10部局が参画
- 疾患バイオバンク

大学病院臨床研究推進センター
(CRIETO)

- 我が国最大規模の橋渡し研究拠点(135人体制)
- 国内唯一の医療機器開発のオープンイノベーションを
推進



産学共創によるイノベーションの一大拠点として、世界中から若手研究者を日本に惹きつける「入口」



全体責任者



遠山 毅
東北大学 理事(産学連携担当)
産学連携機構長

インスティテュート長



羽生 貴弘
東北大学 教授
電気通信研究所 前所長
システム・ソフトウェア研究部
門
新概念VLSIシステム研究室

副インスティテュート長



渡邊 拓
東北大学 客員教授
(一財)ZERO Foundation 代表理事
HERO Impact Capital
General Partner

東北大学産学連携機構は、研究成果の社会実装や産学官との幅広い連携を進め、地球規模の社会課題の解決と豊かな社会の実現を目指しています。



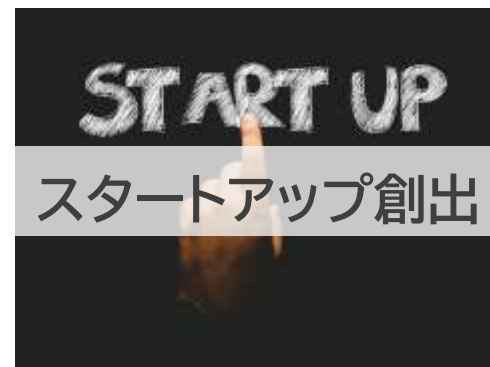
産学官連携

共同・委託研究
共創研究所
学術指導
組織的連携



知財・技術移転

技術移転
知財戦略
知財契約



スタートアップ創出

スタートアップ創出
ギャップファンド
エコシステム形成

民間企業との
共同研究実施件数

第2位

※出典
2024年度大学等における産学連携等実施状況について(文部科学省)

特許総合力

第2位

※個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに特許の質と量の両面から総合力を評価
※出典
特許総合力ランキング2023.4.24
(パテントリザルト)

東北大学発
スタートアップ数

236社

2024年度までの創出数累計

目的とミッション

東北大学スタートアップ事業化センターは、本学の教員・学生が自らの知的好奇心に基づいて、起業という方法で社会・ユーザーの課題を持続的に解決することを目指す活動を支援。

Deeptech & Diverseを基軸とし、ディープテック、社会起業や融合領域の多様なスタートアップ創出の支援を行う。

チーム

スタートアップ
事業化センター

スタートアップ
創出戦略室

東北大学ナレッジキャスト株式会社

金融機関、VC、事業会社、コンサルティング、政府系機関、海外機関等、様々なバックグラウンドを持つスタッフが17名在籍し、研究成果の事業化を支援。EIR制度の活用や、事務部門・大学子会社とも柔軟に連携しながら事業を推進。

(2025年11月現在)

東北大学スタートアップユニバーシティ宣言

国際卓越研究大学に認定

2013

2020

2022

2024

事業イノベーションセンター設立
BIP開始

スタートアップ事業化センターに名称変更
青葉山ガレージ開設

アントレプレナーシップの育成

アントレプレナーシップ 育成プログラム

学生・研究者向けに多様なアントレプレナーシップ醸成プログラムを実施。

- アントレプレナー入門塾
- ジャパンバイオデザイン東北プログラム
- Side Project Fund (SPF)プログラム
- 東北大学ビジネスアイデアコンテスト
- Hult Prize@東北大学
- Garage Gathering等、各種イベント・ワークショップ

事業性検証を支援

ギャップファンドプログラム (研究者・学生向け準備資金)

東北大学独自のギャップファンドであるビジネスインキュベーションプログラム(BIP)を2013年から実施



120件を支援

東北・新潟の大学で共同運営するみちのくギャップファンドを2021年から実施



うち東北大学
57件を支援

大学発ベンチャーへの投資

東北大学 ベンチャーパートナーズ 2015年2月設立



東北大学100%出資
ベンチャーキャピタル

第1号ファンド2015年8月組成
(96.8億円、10年)26社投資
第2号ファンド2020年10月組成
(78億円、10年)24社投資

新規上場
6社

▶ 1・2号合計で50社に投資

東北大学スタートアップガレージ(起業家育成プロジェクト)

起業・プロジェクト創出相談

プロトタイピングワークショップ

アイデア・仮説検証支援

学生コミュニティ形成
(東北大生限定Garage Members)

コワーキングスペース

ビジネスアイデアコンテスト

メンターやアドバイザー、
アルumnaiのバックアップ

Garage Gathering等、多彩な
ネットワーキングイベント

東北大学に起業文化を醸成し、東北大学発スタートアップを多数創出！！

主なプログラムの流れ



Side Project Fund(SPF) (東北大学の独自運営)

学部学生

学部学生・大学院生向けに少額(10万円)の起業支援資金を提供、研究成果の社会実装に限らない学生のプロジェクトを支援、2024年度より開始

大学院生

TUSG

BIP Pre BIP (東北大学の独自運営)

大学院生

BIP: 上限500万円の起業支援資金を提供、2013年度より開始
Pre BIP: 上限50万円の起業支援資金を提供、BIPやみちのくGAPファンドへの申請を今後目指す大学院生・研究者向け、2023年度より開始

研究者

みちのく GAPファンド (東北・新潟大学等の 共同運営)

大学院生

MASP(みちのアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム)にて東北・新潟の24大学・高専で実施、JSTの支援を受けて2021年度より開始
STEP1: (人文・社会科学枠) 上限200万円、(通常枠) 上限500万円、(特別枠) 上限1000万円
STEP2: (通常枠) 上限6000万円・2～3年、(特別枠) 上限1億円・2～3年

研究者



メンタリング



セミナー・ワーク
ショップ



知財コンサル



ビジネスマッ
チング



海外展開



DEMODAY

東北大学スタートアップガレージ(Tohoku University Startup Garage(TUSG))

TUSGプロジェクトでは、起業を志す者、起業経験者、支援者及び投資家等が会するコミュニティを形成し、東北大学が持つ優れたテクノロジーと起業家精神を結集し世界に革新を起こすスタートアップ企業の創造を目指す活動拠点を整備しています。



本学発スタートアップ・学生向け
シェアオフィスを整備

法人登記

コワーキング

ライブラリ

起業相談



学生が集う附属図書館内に
スタートアップ情報ハブを創設

情報発信拠点

学生課外活動

コミュニティハブ



星陵地区にライフサイエンス
スタートアップ情報ハブを整備

情報発信拠点

学生課外活動

コミュニティハブ



オープンイノベーションのハブとして青葉山
ユニバースにコミュニティスペース
A202(エーツーオーツー)を開設(2024.4)

- 青葉山新キャンパス内(ナノテラス隣接)に青葉山ユニバースが竣工。サイエンスパークの一角を担う様々な企業・研究拠点が入居中。
- 集積するスタートアップ・企業・研究機関とのオープンイノベーションを見据え、多様なステークホルダーとの交流・共創の場として活用。



東北大学では、東北大学の知恵とネットワークを最大限に活用し、新たな価値を生み出すスタートアップの成長を力強く後押ししています。



学生アクセラファンド

起業を目指す学生に事業化支援資金を提供。

ビジネスアイデアコンテスト優秀者への支援基金等として活用。



東北大学版EIR(Entrepreneur in Residence)

スタートアップの経営者候補人材を確保するため、Entrepreneur in Residence制度を創設。本学でスタートアップ支援業務等に携わりながら、いわば「住み込み」で、本学研究成果を活用した起業を目指す仕組み。



都内で行ったEIR発掘イベントの様子



スタートアップ・アルムナイ

東北大学スタートアップ・アルムナイを組織化。SNSを活用することにより、本学発スタートアップに興味のある卒業生との接点を増やし、支援者・経営者候補の裾野を広げる取組。約200名超のSNSメンバーがおり、定期的に「東北大学スタートアップアルムナイ100人カイギ」を開催。

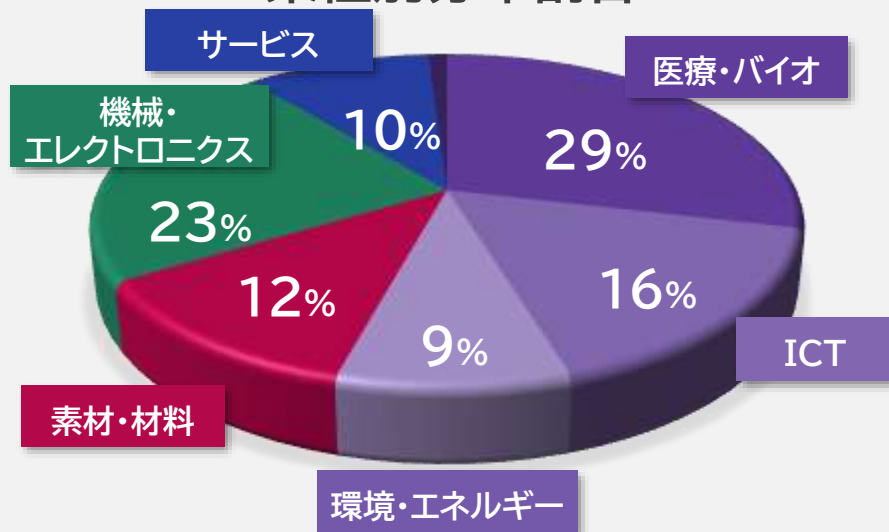


東北大学発スタートアップ数

236社
全国トップクラスの創出数

2024年度までの創出数累計

業種別分布割合



東北大学の強みである**素材・材料**、**機械・エレクトロニクス**等ものづくり企業はもとより、**医療・バイオ**、**環境・エネルギー**、**情報通信・サービス**等の多様なスタートアップが生まれている。

国内未上場ユニコーン

- ▶ 株式会社クリーンプラネット
(新水素エネルギーの実用化研究)

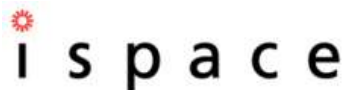
IPO: 6件

クリングルファーマ株式会社	2020年12月28日東証マザーズ
株式会社レナサイエンス	2021年9月24日東証マザーズ
サスメド株式会社	2021年12月24日東証マザーズ
ティムス株式会社	2022年11月22日東証グロース
株式会社ispace	2023年4月12日東証グロース
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社	2023年8月1日米NASDAQ (2024年11月15日上場廃止)

M&A: 3件

株式会社フォトニククラティス	2020年11月16日
株式会社スーパーナノデザイン	2023年1月31日
株式会社エピグノ	2025年7月1日

東北大学の「実学重視」の精神に基づいて、アカデミア最先端のディープテックを社会実装し、イノベーションを牽引します。



宇宙工学

THVP
投資先

IPO

- 月への物資輸送サービスをはじめとした月面開発事業
- 民間企業として商業的な月面探査ビジネスをリード（日米欧に拠点）
- 2023年4月12日東証グロース上場
- 工学・吉田和哉教授のローバー技術



宇宙工学

THVP
投資先

- 宇宙実験・製造の成果を地球に回収する小型衛星プラットフォーム「ELS-R」の開発・提供
- 本学卒業生小林稜平氏と工学・衆原聡文教授が共同創業
- 2026年以降に初号機「AOBA」の打ち上げ予定



宇宙工学

- 月近傍領域（シスルナ領域）への経済圏拡張をビジョンに、50～100kg級の超小型人工衛星の企画・開発・製造・運用を一貫して行うミッションインテグレーター
- 工学・吉田和哉教授が共同創業、CTOを担う



ライフサイエンス

THVP
投資先

IPO

- 「SMTP」という独自の化合物群を基に、急性期脳梗塞治療薬「TMS-007」などを開発している創薬バイオスタートアップ
- 2022年11月22日東証グロース上場
- 富永総長が研究開発に携わる



ライフサイエンス

THVP
投資先

IPO

- PAI-1阻害薬「RS5614」などの医薬品に加え、AIソリューション事業や医療機器・診断薬の開発
- XPRIZE Healthspan TOP40（セミファイナリスト）入賞
- 2021年9月24日東証マザーズ上場
- 医学・宮田敏男教授の研究成果



ライフサイエンス

- 放射線治療計画の質向上と業務効率化を支援する、放射線治療AI「AIVOT」の開発・提供
- 医学・角谷倫之先生の放射線治療研究成果を活用し創業
- 2025年住友商事と海外独占契約を締結

東北大学の研究成果は、「知恵」から「価値」へ。社会のレジリエンスとイノベーションを加速し、新たな産業と社会の未来を創造します。



マテリアル

THVP
投資先

- AIMRの藪浩教授の研究成果による「AZUL触媒」というレアメタルを使わない高性能触媒で燃料電池やCO₂還元等のクリーンエネルギー技術を革新
- Cleantech Group主催の「2025 APAC Cleantech 25」選出



マテリアル

- 次世代三次元炭素材料「GMS（グラフェンメソスポンジ）」を開発・応用することで、Lithium-ion電池の性能を革新
- AIMRの西原洋知教授の研究成果
- 東洋経済すごいベンチャー100選出（2025）



クリーンテック

THVP
投資先

- 東北大学発のイオン交換樹脂法を使い、米ぬかなどの未利用バイオマスからスーパービタミンE（トコトリエノール）などの高機能成分を抽出・製品化
- 工学・北川尚美教授の研究成果



半導体

THVP
投資先

- 従来の1/100の消費電力を達成する高性能半導体デバイスを開発
- スピントロニクス技術に基づき、MRAMなどを使った省電力半導体の設計・試作
- CIES・遠藤哲郎教授がCTO



ロボティクス

- 東北大学での月面探査機研究を応用し、農作業を自動化するAI自律走行ロボットを開発・提供
- 東北大学卒（博士）のタミル・ブルーム氏がCEOを務める
- 東洋経済すごいベンチャー100（2025）



災害科学

THVP
投資先

- G空間情報とデジタルツインを活用したリアルタイムの津波浸水被害予測システムなどを提供
- 内閣府の防災システムに採用の他民間事業者では初めて気象庁から津波予報業務の許可を取得
- 災害研・越村俊一教授がCTO



東北大学ビジネスアイデア コンテスト(2017年度～毎年度開催)

2024年度は応募から選ばれた10チームが決勝で独自のビジネスアイデアを披露。起業家や投資家による厳正な審査の結果、チーム「TsuCre」が最優秀賞。このコンテストは、社会的インパクトのある課題解決を目指す独創的なアイデアを奨励しています。



Garage Gathering (月に1回程度定期的に開催)

プロジェクト立ち上げや起業・スタートアップに関心がある東北大生限定のSlackコミュニティGarage Membersを中心とした交流イベントを定期的に開催。起業家・アルムナイ・学生同士のネットワークを構築し、カジュアルな情報共有や交流の場として様々なテーマで実施。



東北大学STUDENT DEMODAY (2024年度開催)

東北大発の学生プロジェクト成果発表会が2024年に初開催。スタートアップ事業化センター、グリーン未来創造機構、基金・交友事業室が連携し学生の挑戦を後押し。学生団体による発表、ワークショップ、ビジネスコンテストの講演と表彰式、交流会など、多彩なプログラムが展開された。



あずさ監査法人との共催イベント (2022年度～開催)

東北大学から日本を変える取組みと題して、あずさ監査法人、東北大学ベンチャーパートナーズと共催イベントをオンラインとリアルハイブリットにて開催。本学発の骨太のスタートアップが登壇。



MASP DEMODAY (東京・仙台で開催)

東北大学が主幹校を務めるMASPのGAPファンド採択者の成果発表の場として、東京と仙台でそれぞれ実施。VCや事業会社等、協力候補先とのネットワーキングの場として次のステップに繋がる機会を創出。



DATERISE ! 2025 (2025年度初開催)

仙台市と共催で実施。仙台・東北から海外を目指すスタートアップ等を集め、ピッチコンテストやキーノートスピーチなどを通じて未来を切り拓く力を育むグローバルスタートアップイベント。本学発アイラト社が最優秀賞を獲得。

地域連携によるスタートアップの街づくり 「SENDAI STARTUP CAMPUS」構想

21

東北大学・仙台市・宮城県・NTTグループ等が連携協定を締結（2023年6月）、
仙台全体にスタートアップ拠点を整備しスタートアップキャンパスとしていく

スタートアップ拠点整備

1 2 3 東北大学内
イノベーション拠点
(青葉山ガレージ・川内ガレージ、星陵ガレージ、A202等)



4 NTTアーバンネット
仙台中央ビル
(仙台スタートアップスタジオ等)



世界最先端のアントレプレナーシップ教育

1 4 世界のリーディング大学との連携

グローバルで活躍するスタートアップ創出

1 4 スタートアップへのワンストップ支援の提供
グローバルアクセラレータコミュニティの拠点

世界最先端の技術やサイエンスパーク・ナノテラスの活用によるスタートアップ創出

1 次世代放射光施設
ナノテラスをはじめとする
先端技術研究施設



3 東北大学病院・医学部・歯学部・加齢医学研究所・東北メディカル・メガバンク機構等の医療分野の施設・拠点
4 金属材料研究所、電気通信研究所、多元物質科学研究所など世界的な研究成果を挙げている研究所等

NTTIOWN×東北大学

NTTが有するIOWNの先端技術と東北大学の学術的研究知見を組み合わせる革新技术の創出に向けた取り組みを推進し「SENDAI STARTUP CAMPUS構想」を加速



“Deep-tech & Diverse”をテーマに、東北・新潟を課題先進地域から課題解決先進地域へ、世界を変革していくスタートアップエコシステムの構築を目指す。

共同機関: 24 校

(8国立大学・6公立大学・3私立大学・7高専)

JST-START
形成支援事業採択

2022年度～
2026年度

JSTスタートアップ・エコシ
テム共創プログラム採択

2023年度～
2027年度

起業活動支援(みちのくGAPファンド)

起業環境の整備

アントレプレナーシップ人材育成

エコシステムの形成・発展



秋田県

- ・秋田大学
- ・秋田県立大学
- ・国際教養大学
- ・秋田工業高等専門学校

山形県

- ・山形大学
- ・東北芸術工科大学
- ・鶴岡工業高等専門学校

新潟県

- ・新潟大学
- ・長岡技術科学大学
- ・長岡工業高等専門学校

青森県

- ・弘前大学
- ・八戸工業高等専門学校

岩手県

- ・岩手大学
- ・岩手県立大学
- ・岩手医科大学
- ・一関工業高等専門学校

宮城県

- ・東北大学（主幹校）
- ・宮城大学
- ・東北学院大学
- ・仙台高等専門学校

福島県

- ・福島大学
- ・会津大学
- ・福島県立医科大学
- ・福島工業高等専門学校

地域のエコシステム・全国のプラットフォーム・グローバルとの連携を促進



学

官

産

金



世界最先端のアントレプレナーシップ教育による起業家の輩出とグローバルで活躍するスタートアップの創出に向けた取組を加速

海外リーディング大学と連携してスタートアップキャンパスを構築

UC Berkeley



アントレプレナーシップ教育
DESIGN THINKING

- 米UCバークレーHaasビジネススクールの講師によるデザイン思考(オンライン/現地派遣プログラム/東北大での特別授業)
- MASPの取組の一環でGAPファンド採択者向けに現地プログラムを実施、???

École Polytechnique



アントレプレナーシップ教育
DEEP TECH

- 仏エコールポリテクニークで提供の、ディープテックスタートアップを生み出す実践的な授業(オンライン授業/ケーススタディ/コーチング+現地派遣プログラム)

Tallinn University of Technology



アントレプレナーシップ教育
DX

- タリン工科大学で提供のe-Governance(デジタル技術を用いた行政・社会改革)の社会実装を学ぶプログラム(現地短期派遣/仙台市での実践体験)

University of Chicago



量子スタートアップ創出
QUANTUM STARTUP

- 東北大学・Q-STAR・シカゴ大学の連携。シカゴ大学の大学発量子スタートアップ・アクセラレーションプログラムであるDualityへの本格参加を見据えた「Duality Japan Program」、ワークショップ等の実施

National University of Singapore



事業化検証プログラム
DEEP TECH

- MASPの取組の一環で実施したGAPファンド採択者向けの事業化検証プログラムの一部として、シンガポール国立大学のBlock71にて、スタートアップ、VCからの講義やネットワーキングを実施

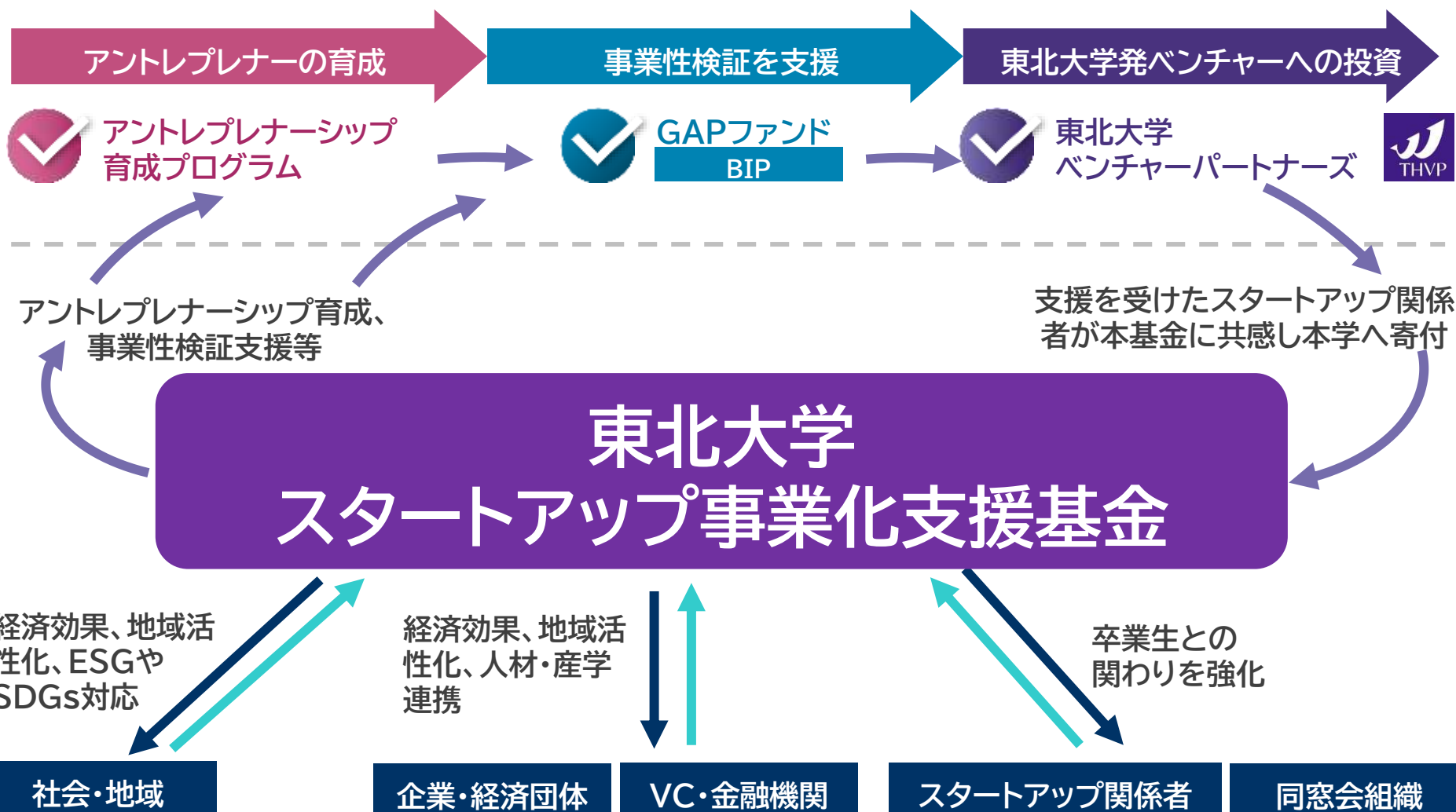
台湾陽明交通大学 (NYCU)



スタートアップ創出
DEEP TECH

- 東北大学ナレッジキャスト株式会社が、NYCU傘下のアクセラレータIAPS等とMOUを締結(2025.5)。共同でのスタートアップ創出プログラム開発等での連携を促進。

東北大学スタートアップ事業化支援基金(2021年12月設置)により、スタートアップ創出と地域活性化のイノベーションサイクルを循環させる



産学連携機構における取組例

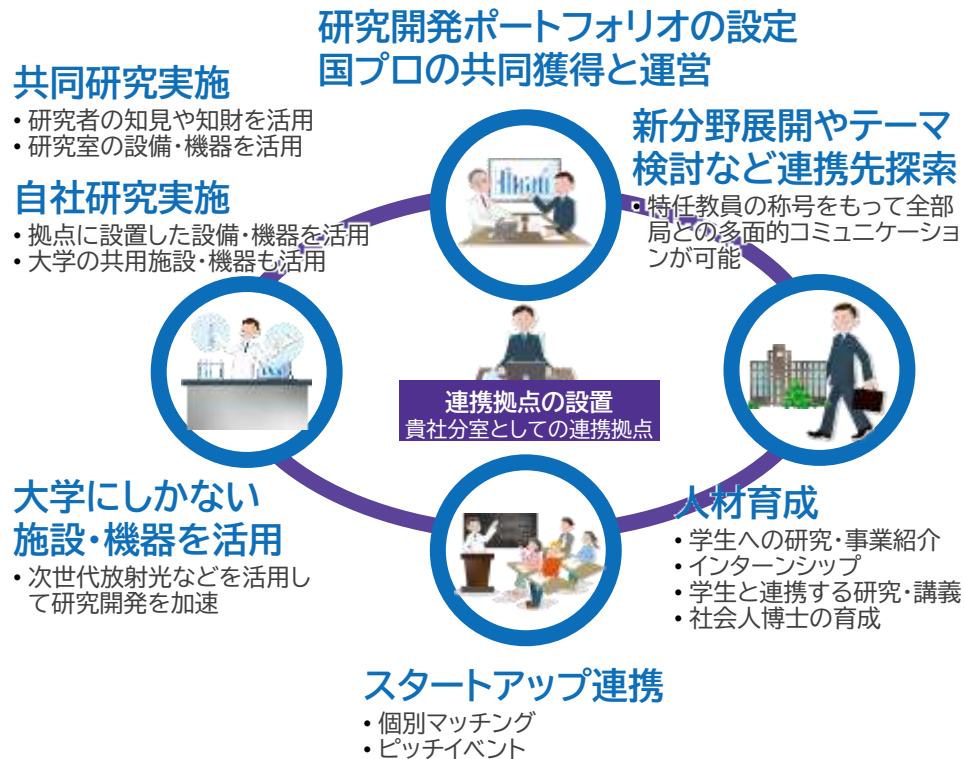


MOVE AND SHAKE.

共創研究所

- 企業の活動拠点「共創研究所」をキャンパスに設置
- 設置企業出身者が「運営総括責任者」となり、活動を主体的に実施
 - ✓大学教員は「運営支援責任者」として 活動を全面的にバックアップ
- 大学の全部局にリーチすることで、変化する課題に対して、分野融合で本質をとらえた解決を導出
- 通常の共同研究に加えて、骨太のテーマ探索等の包括的な産学共創活動が可能
 - ✓国プロの共同獲得、人材育成、大学発ベンチャーの活用、若手・学生との連携など

多様なニーズに応える柔軟な制度として
2021年よりスタート



共創研究所一覧

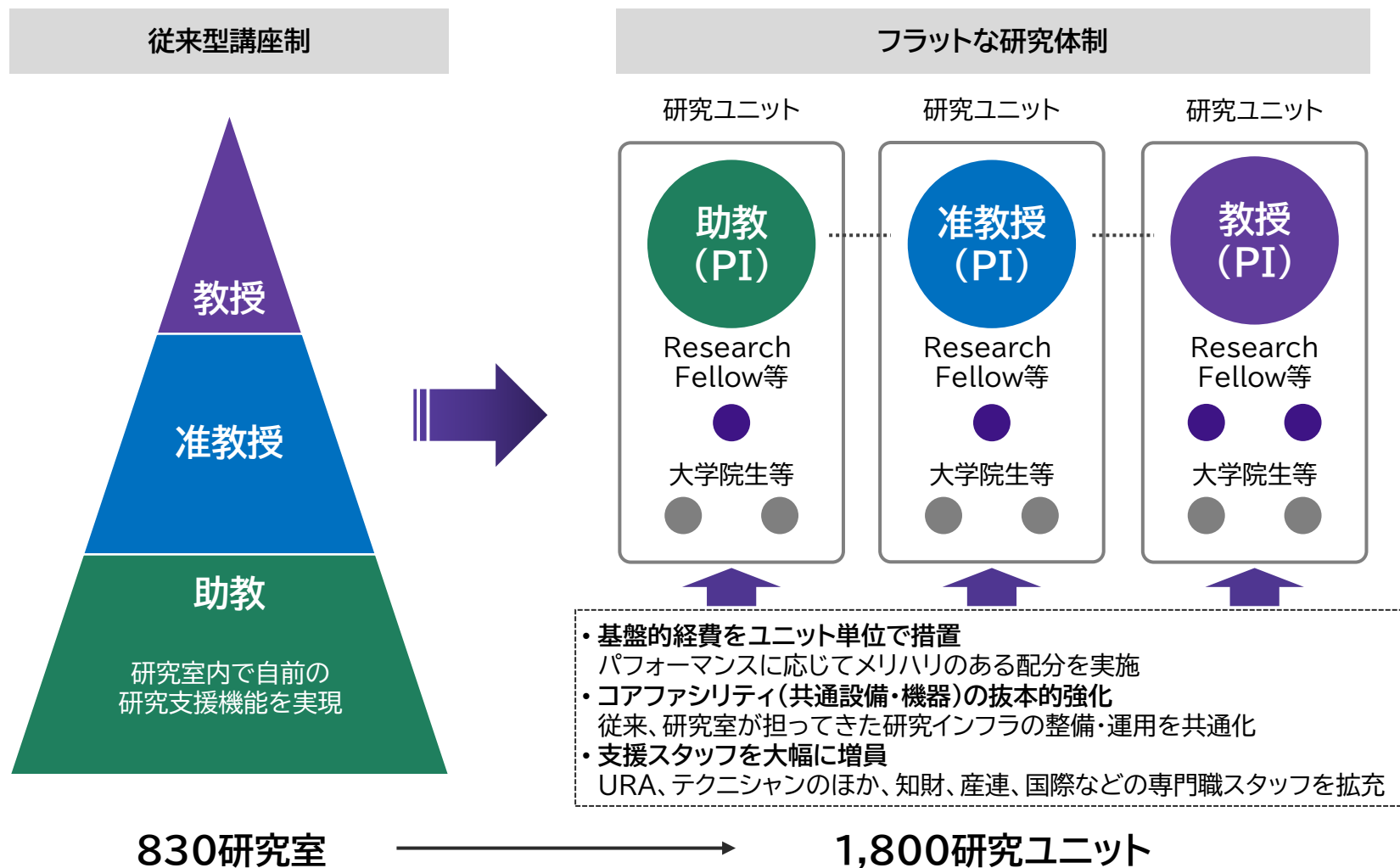
これまでに44拠点設置済み (2025.10.1時点)

27

2021年10月 愛知製鋼×東北大学 次世代電動アクスル 用素材・プロセス共創研究所 AICHI STEEL アイチテツ、素直に、 まっすぐ、進めよう。	2021年10月 ブリヂストン×東北大学 共創ラボ BRIDGESTONE	2021年11月 東北電力×東北大学 共創研究所 より、そう、ちから。 東北電力	2022年2月 JFEスチール×東北大学 グリーンスチール共創研究所 JFE JFE スチール 株式会社	2022年3月 東北発電工業×東北大学共創研究所 東北発電工業株式会社	2022年4月 トヨタ自動車東日本×東北大学 環境融和ものづくり共創研究所 TMS トヨタ自動車東日本
2022年4月 DOWA×東北大学 共創研究所 DOWA	2022年4月 ピクシーダストテクノロジーズ×東北大学 ホログラフィックウェルビーイング 共創研究所 Pixie Dust Technologies, Inc.	2022年7月 大同特殊鋼×東北大学 共創研究所 大同特殊鋼	2022年9月 IHI×東北大学 アンモニアバリューチェ ーン共創研究所 IHI	2022年10月 TDK×東北大学 再生可能エネルギー 変換デバイス・材料開発共創研究所 TDK	2022年10月 富士通×東北大学 発見知能共創研究所 FUJITSU
2022年10月 住友金属鉱山×東北大学 GX材料科学共創研究所 住友金属鉱山	2023年3月 アルプスアルパイン×東北大学 つながる 価値共創研究所 ALPSALPINE Perfecting the Art of Electronics	2023年4月 デクセリアルズ×東北大学 光メタセンシング共創研究所 Dexerials	2023年4月 古河電気工業×東北大学 フォトニクス融合共創拠点 古河電工	2023年4月 3DC×東北大学 カーボン新素材GMSで 「世界を変える」共創研究ラボ 3DC	2023年8月 セイコーエプソン×東北大学 サステナブル材料共創研究所 EPSON
2023年10月 三井化学クロップ&ライフソリューション× 東北大学バイオロジカルソリューション 共創研究所 三井化学クロップ&ライフ ソリューション株式会社	2023年11月 NEC×東北大学 宇宙統合ネット ワーク・レジリエントDX共創研究所 NEC Orchestrating a brighter world	2023年12月 TREホールディングス×東北大学 WX (WasteTransformation) 共創研究 所 TRE HOLDINGS	2024年2月 SWCC×東北大学 高機能金属共創研究所 SWCC GROUP	2024年3月 日本特殊陶業×東北大学 MIRAI no ME 共創研究所 Niterra 日本特殊陶業	2024年4月 島津製作所×東北大学 超微量生命科学共 創研究所 SHIMADZU Excellence in Science
2024年4月 メニコン×東北大学 みる未来のための共創研究所 Menicon	2024年4月 鹿島×東北大学 環境配慮型建設材料共創研究所 鹿島	2024年4月 日本電子×東北大学 高度マテリアル分析共創研究所 JEOL	2024年4月 AZUL Energy×東北大学 バイオ創発GX 共創研究所 AZUL Energy	2024年5月 荏原製作所×東北大学 「流れ」で未来をつくる共創研究所 EBARA	2024年6月 NAGASE×東北大学 Delivering next. 共創研究所 NAGASE Delivering next.
2024年7月 パナソニックホールディングス×東北大学 共創研究所 Panasonic	2024年11月 富士電機×東北大学 先端技術共創研究所 富士電機	2025年1月 住友ベークライト×東北大学 次世代半導体向け素材・プロセス共創研 究所 住友ベークライト	2025年2月 ポーラ化成工業×東北大学 「境界の融和」共創研究所 POLA R&M ポーラ化成工業株式会社	2025年4月 日本製鉄×東北大学 共創研究所 NIPPON STEEL 日本製鉄株式会社	2025年4月 住友ゴム×東北大学 次世代シンクロサイエンス共創研究所 住友ゴム
2025年4月 朝日レントゲン工業×東北大学 「みえるをかえる。」共創研究所 ASAHIRODENTGEN Imaging new visions.	2025年4月 サントリーグローバリーバージョンセ ンター×東北大学 「水と健康」共創研究所 SUNTORY SANTORY GLASS WATER TECHNOLOGY CENTER	2025年4月 EPNextS×東北大学 地域・未来医療共 創研究所 EPNextS 株式会社EPNextIS	2025年5月 三井金属×東北大学 未来創造材料共創研究所 三井金属	2025年6月 神戸製鋼所×東北大学 先端半導体用素 材・プロセス技術共創研究所 KOBELCO	2025年7月 デンソー×東北大学 グリーンイノベーション共創研究所 DENSO Crafting the Core
2025年10月 TAI×東北大学 Reconfigurable AI-Chip 共創研究所 TokyoArtisan TAI Intelligence	2025年10月 タムラ製作所×東北大学 先端パワーエ レクトロニクス共創研究所 TAMURA				

2025年10月1日現在 44拠点

- 優秀な研究者(約1,800名)が独立した研究ユニット主宰者(PI)として活動できるフラットで機動的な研究体制を制度化
- テニュアトラックを全学的に展開し初期・中堅キャリア研究者(EMCR)の独立を促進



若手研究者に独立研究環境を提供する

学際科学フロンティア研究所 (FRIS)

若手**50**名が世界トップレベルの学際研究に挑戦

- 分野を限定しない国際公募
(競争率10倍以上)
- 独立した研究環境(若手PI)
- テニユアトラック制度
- 年間最大250万円の支援
- 国際頭脳循環、共用設備

FWCI
1.51

※2017～2022年

TOP10%
論文割合
13.8%

※2017～2022年



若手研究者の活躍が際立つ大学

文科大臣表彰
若手科学者賞

85名
(全国2位)

※2016～2024年度
受賞件数

大学フェロー
シップ創設事業

採択120件
(全国1位)

※博士後期課程学生
※2021年度実績

創発的
研究支援事業

採択74件
(全国3位)

※2020～2023年度
採択件数

日本学術
振興会賞

9件
(全国2位)

※2021～2023年度
受賞件数

日本学術
振興会育志賞

5名
(全国2位)

※2021～2023年度
受賞件数

トップクラスのフィジシャン・サイエンティストを生み出すインスティテュート



MOVE AND SHAKE.

知の加速が、世を動かす。

目指すのは、

日本、そして世界を先導する研究大学の創造。

自ら動き、心を揺さぶる。

事を動かし、当たり前を塗り替える。

変革にコミットし、リーダーシップを発揮する。

国内外から集まる学生や教職員、

研究者や社会のパートナーが、

叡智を結集し、速やかに前進する。

一人ひとりの志、誇りと覚悟を礎に。

新しい時代を切りひらく、

世界最高水準の研究大学を目指して。